



平成 2 1 年 6 月 1 2 日
内閣府 沖縄振興局
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構
沖縄科学技術大学院大学に関連する国際集中コースの開催について

標記について下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

記

1. タイトル Okinawa Computational Neuroscience Course 2009
(沖縄計算神経科学コース 2009)
2. 日 時 平成 2 1 年 6 月 1 5 日 (月) ~ 7 月 2 日 (木)
3. 場 所 OIST シーサイドハウス (沖縄県国頭郡恩納村字恩納 7 5 4 2)
4. 概 要 沖縄県恩納村にある OIST シーサイドハウスにて、脳科学と情報科学の融合領域の集中コースを開催します。
計算神経科学とは、脳や神経の働きをコンピューターによるシミュレーションなどによって解析する研究分野で、およそ 3 週間におたる同コースは、理論系の参加者にとっては神経科学の最先端の研究内容を学ぶ機会であり、実験系の参加者にとっては計算モデルに関する実践的な学習の機会です。
6 回目となる今年は、海外から 10 名を含む 18 名の講師陣、国内外から応募したおよそ 130 名の若手研究者と大学院生から選ばれた受講生 32 名、計算機実習を担当するチューター 8 名が参加する予定です。午前中は 3 時間の講義、午後は技術的テーマに関するチュートリアルと受講生による実習プロジェクトに充てます。
なお、本コースの企画・運営は沖縄科学技術研究基盤整備機構のエリック・デ・シユッター博士をはじめとする、代表研究者 4 名が担当します。
詳しいコースのご案内は下記をご参照ください。
<http://www.irp.oist.jp/ocnc/2009/index.html> (英語サイトのみ)
5. 取材方法 別紙の取材要領に従ってください。

【本件問合せ先】 内閣府沖縄振興局 新大学院大学企画推進室 新田、伊波
独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構
総務グループ コミュニケーション・ワークショップ課 広報担当: 名取、具志堅
電話: (代表) 098-966-8711 (直通) 098-966-8759/8754
E-mail: kaoru.natori@oist.jp chiaki.gushiken@oist.jp

沖縄科学技術大学院大学に関連する国際集中コース取材要領

1. 取材が可能なセッション

取材及びカメラ撮りは、下記のセッションにおいて可能です。但し、テレビカメラについては1社につき1台までとさせていただきます。また、講義のカメラ撮影は冒頭15分間のみとさせていただきます。会場はいずれもシーサイドハウス1階のセミナールームです。

<u>6月16日(火)</u>	<u>9:30~12:30</u>	理化学研究所 脳科学総合研究センター (理研 BSI) Dr. Thomas Knöpfel による講義
<u>6月17日(水)</u>	<u>9:30~12:30</u>	OIST 代表研究者 Dr. Klaus Stiefel による講義
<u>6月18日(木)</u>	<u>9:30~12:30</u>	理研 BSI-トヨタ連携センター 加藤英之博士による講義
<u>6月19日(金)</u>	<u>9:30~12:30</u>	OIST 代表研究者 Dr. Erik De Schutter による講義
<u>7月2日(木)</u>	<u>14:00~18:00</u>	受講生によるプレゼンテーション

2. 登録

事前連絡は必要ありません。

当日、入場される方は、全員必ず報道機関の腕章を着用してください。腕章のない方は、会場警備の都合上、入場をお断りする場合があります。

3. 撮影場所の指定

1. のセッションについて、撮影に当たっては、係員の指示に従っていただくようお願いいたします。

4. 音声の収録

1. のセッションについて、音声ジャックは使用できません。報道各社によるガンマイク等の使用は可能ですが、音声の収録に当たっては、くれぐれもプログラムの進行の妨げにならないよう配慮をお願いします。

5. 参加者への個別インタビュー

講義室内での個別インタビューはご遠慮ください。

参加者への個別インタビューについては、事前に本人の了解を得て行ってください。

6. 留意事項

- ・上記1のいずれのセッションにおいても通訳はありません。
- ・報道関係者控え室はありません。